

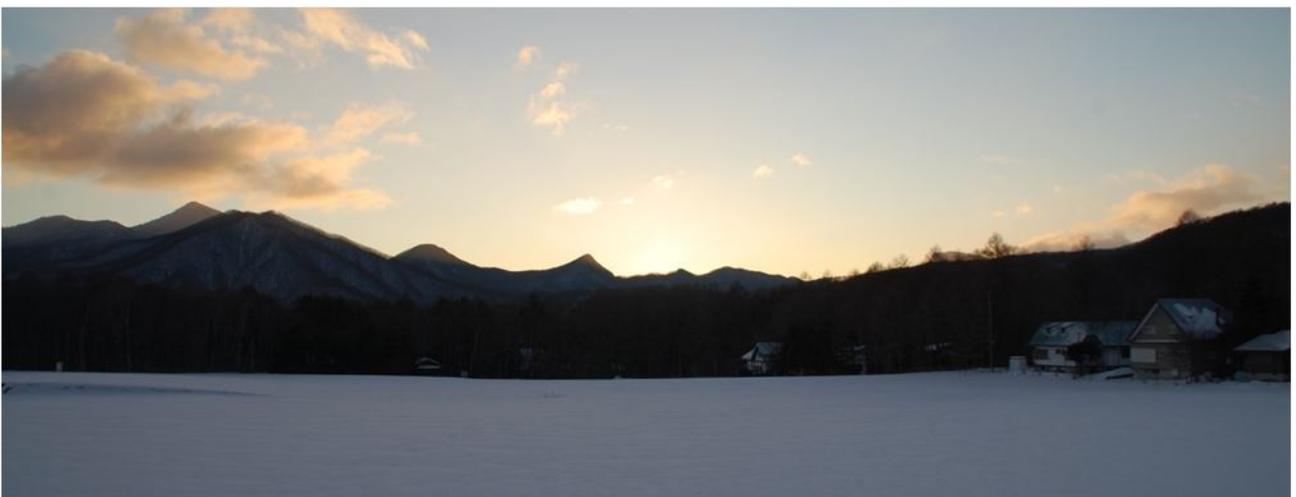
「雪原の初日の出」

「初日の出」というのは、日本人にとって特別な意味を持っているようです。諸外国では「カウ
ントダウン」のイベントは盛んですが、日の出にはあまり興味がないようです。スウェーデンでは、
大晦日の 23:30 ぐらいになると、街のどこそで花火が打ちあがります。それも小さな花火ではな
く、日本では花火師が打ち上げるようなすごい花火です。その為に 12 月になると、新聞広告に「こ
んなの普通の人に売っていいの?」と思うような、巨大な花火の広告が載ります。その後、町や村
の集会所の庭に集まって、ワインがふるまわれ、大騒ぎして終わりです。その後はみんな寝てしま
い、初日の出なんか見ません。・・・そもそも北極圏では太陽そのものが昇ってきませんが・・・



「スウェーデンの年越しイベント・・・大花火大会」 ノルボッテン州・ポルユス村

北軽井沢は昨夜から雪が降っていて、初日の出はあきらめて、私は徹夜で寝ていました。しかし、
7 時前に起きて空を見上げると、何と快晴！大急ぎでカメラ持って、いつも天体写真を撮りに行く
牧草地まで行きました。幸い、まだ太陽は昇っていませんでした。



元日の北軽井沢の日の出時刻は 6:57 です。しかし東側に山脈があるので、日の出は 30 分ほど遅くなります。気温氷点下 10℃の中、凍えながら日の出を待ちました。駒髪山（こまかみやま）と氷妻山（ひづまやま）の間のあたりから、光芒が射し始めました。そのあたりから太陽が昇ることは疑いないようです。



「日の出直前の稜線」 ただの太陽なのに、ドキドキして待ちました。



「初日の出の一瞬」 2015, -1, -1 北軽井沢 C. Tanaka

実に神々しい一瞬に感動しました。やはり自分も日本人なのだと、妙に実感しました。



こちらは「初日差し」 私（はにわではありません）と自動車の影が写っています。



「初日の出とぐんまちゃん」



「初日の出を見るぐんまちゃん」

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）